

2023 年度

事業報告書

一般社団法人音楽情報プラットフォーム協議会
(MINC)

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

2023 年度事業報告

I 事業内容

【1】「音楽に関する著作権及び著作隣接権関連情報の収集及び公衆への提供」事業

1. MINC 統合 DB のデータ整備

(1) メジャー系 CD アルバム・収録曲情報のデータ整備

① アルバム・収録曲情報の取り込み (ISRC の統合)

2023 年 4 月～2024 年 3 月の新譜について「jmd マスター」(jmd 社がレコード各社から収集する、または自社で生成する CD アルバム・収録曲情報のコアとなるデータテーブルの名称)から約 24 万曲の入力取込を実施し、また jmd マスターから MINC 統合 DB に反映するための対象カタログ、収録曲の抽出、ISRC コードの更新、PD 作品情報の編集等を行った。

② 作品 DB 更新及び作品コード付番

JASRAC から J-WID データ全量を月次で、録音使用物データ全量を四半期ごとに受け取り、また、NexTone からは作品データ及び JASRAC 作品コードとの対比表を月次で受け取り、約 8 万曲の作品情報の更新を行った。

③ 実演家コードの統合

jmd が付番した実演家コード (CPRA が jmd に eCATS データを利用した実演家コードの付番作業を委託) を CPRA がチェックした後、約 1 万種類のコードを jmd マスターに反映した。

④ データ更新

ISRC と JASRAC 作品コード、NexTone 作品コード、及び実演家コードの関連付け(統合)を jmd マスター上で完成させた後に、DB 変換作業を経て毎月末に MINC 統合 DB に反映させ、その結果、収録楽曲総件数は約 616 万曲、実演家コードは約 12 万種類、ISRC は約 281 万種類、その ISRC で作品コードが特定できるのは約 216 万種類となった。

(2) インディー系/ネットクリエイター系レコード情報 (CD 等) のデータの整備

インディー系/ネットクリエイター系レコード情報は新譜を含め約 7 万曲の取込を実施した。課題となっている作品情報の定期的更新については、関係者間で作業方法等の調整中であるため 2023 年度は実施できなかった。

(3) 配信レコード情報のデータ整備

2019 年度まで実施した文化庁実証事業において、レコチョク、JNCA 及びドワンゴから配信レコード情報を収集し、作品コードを有する配信レコード情報の他、ISRC を有する配信レコードはそれに合致する CD 収録曲の作品情報を用いてデータ統合を実施した上で「音楽権利情報検索

ナビ」で公開した。2023 年度もこれまでと同様、レコチョクからのデータ収集を継続し、文化庁実証事業と同じ方法でデータ統合を実施した上で約 88 万曲の取込を実施した。

2. MINC 統合 DB のデータ提供

(1) 一括検索サイト『音楽権利情報検索ナビ』

- ・2023 年度末の公開楽曲数は約 1,258 万曲（配信楽曲を含む）まで拡大した。利用者からは年間約 228 万ページビュー（月平均 19 万ページビュー）のアクセスがあった。
- ・2023 年 2 月 13 日開催の第 9 回理事会で決議した、音楽権利情報検索ナビで使用されて OS の Linux 環境への移行、新旧 Web サーバ・DB の統合及びサイトデザイン変更について改修を実施し、2023 年 9 月 11 日に完了した。
- ・JASRAC の J-WID と MINC の支分権管理状況の記号表記の一部差異について、JASRAC からの提供データの改修に伴い、MINC サイトの記号表記とヘルプ表示の改修を実施し、J-WID との表記差異を解消した。
- ・2023 年度は、MINC カスタマーサービスへの問い合わせ（要望を含む）が 31 件あり、当日から 2 営業日以内に全て回答した。

①公開データ件数

項目	2024 年 3 月末	2023 年 3 月末	対比
商品数(CD ディスク数)	598,448	583,133	103%
総楽曲数(配信楽曲含む)	12,584,009	11,391,434	110%
・CD 商品収録楽曲	7,531,054	7,221,961	104%
・配信楽曲	5,052,955	4,169,473	121%
作品数	6,272,041	5,794,591	108%
アーティスト数	612,063	578,364	106%

②アクセス件数

月	2023 年度	2022 年度	対比
2023 年 4 月	156,674	132,940	118%
5 月	172,324	167,500	103%
6 月	177,156	144,177	123%
7 月	181,306	126,637	143%
8 月	197,423	158,489	125%
9 月	198,455	148,410	134%
10 月	213,533	150,264	142%
11 月	202,046	171,406	118%
12 月	201,718	148,656	136%
2024 年 1 月	185,326	155,830	119%
2 月	211,839	172,765	123%
3 月	185,613	177,296	105%
合計	2,283,413	1,854,370	123%
月平均	190,284	154,531	123%

(2) データ販売

MINC 統合データベースのデータ使用権の販売について、jmd 社が販売する音楽情報データ「eCATS」に下記の MINC データを付加して委託販売する事業を実施した。

- ① レコード (CD 等及び配信) に係る ISRC、作品コード及びアーティストコードのデータ
- ② 上記①の音楽作品に係る支分権毎の管理状況を示すデータ
- ③ 上記①の音源を用いた放送番組ネット配信に係る著作権隣接権 (送信可能化権) 集中管理への委任状況を示すデータ
- ④ 著作権管理事業者が管理する正式表記の音楽作品データ

(3) MINC が主体となるデータ提供に向けた準備

著作権の管理に携わる関係団体より、利用者からの著作物利用報告における入力支援として、MINC データの連携・利用の要望があり、データ提供範囲や費用について検討した結果、CD・配信商品の検索や音源検索、作品検索などを主な機能として、API 接続によるデータ連携を行うこととした。本件データ連携については、MINC が主体としてデータ提供を行う。2023 年度は、API 開発及びデータ連携にかかる準備を行い、2024 年度から作業に着手する。

3. 使用楽曲報告ワーキンググループの実施

放送等で使用される楽曲・レコードの報告精度の向上を目的として、当協議会をハブとする各種データ連携スキームの可能性を検討するために設置した使用楽曲報告ワーキンググループを開催し、以下の検討を行った。

- ・ 音楽権利情報の次世代提供スキーム
- ・ フィンガープリント等の全曲報告支援事業者との連携スキーム
- ・ 放送等の使用楽曲・レコード報告の集約型処理スキーム

ワーキンググループでは、MPA を事務局として行った FP 実証プロジェクトのレビューを実施し、また FP 事業者 2 社へのヒアリングを行い、メジャー系以外の楽曲の FP 登録促進を課題として、MINC での共通ワークスペース／ハブの構築による音源の集約化等について議論を行った。

【2】【1】に係る調査研究、開発及び実証

1. 文化庁実証事業

文化庁が令和 5 年度に実施した「分野横断権利情報検索システムに関する調査研究」及び「個人クリエイター等の権利情報を登録する仕組みの分野横断化に関する調査研究」において、令和 5 年著作権法改正により創設された新たな裁定制度のための分野横断権利情報検索システムの構築と、音楽権利情報登録システムに音楽以外の分野の個人クリエイター等の権利情報を登録するシステムの検討が行われた。「分野横断権利情報検索システムに関する調査研究」では MINC データベースとの連携方法についての検討や利用者ニーズの調査、「個人クリエイター等の権利情報を登録する仕組みの分野横断化に関する調査研究」では個人クリエイター等のニーズの調査や、登録に必要な項目や条件を検討した。令和 5 年度調査研究をもとに、令和 6 年度に要件定義、翌 7 年度に設計開発を行うことが検討されている。

当協議会は、両調査研究の検討委員会に委員参加し、取り纏めに協力した。

以 上